

氏名(本籍)	稲垣 祐輔 (日本)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第 380 号		
学位授与年月日	令和 3 年 9 月 22 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Model Construction for Business Transformation and Value Provision of the Small Enterprises-The Key to Strategic Management that Reverses and Improves Business Conditions and Achieves Sustainable Development- (小規模企業のビジネス変革と価値創造・提供のモデル構築ー業況の反転・向上と持続的発展を果たす戦略経営の要諦ー)		
論文審査	(主査)	高知工科大学 教授	渡邊 法美
		高知工科大学 教授	那須 清吾
		高知工科大学 非常勤講師	馬淵 泰
		高知工科大学 准教授	上村 浩
		関西外国語大学 教授	福井 幸男

審査結果の要旨

1.論文の評価

環境変化に対応できず業況を落とす小規模企業は多数存在する。しかし、その反転・向上と持続的発展の過程に関する類似先行研究は限定的にしか存在しない。

申請者は、経営コンサルタントとして自身が支援した「成功体験」を持つ企業を丁寧に調査し、業況反転の過程を詳述した。これは、申請者がビジネス変革を行う企業に約 6 年(2015~21 年)伴走し、実地調査を行い、その結果を帰納法アプローチに基づいてまとめたものである。これらの事例研究は労作であり、内容は希少で実務的価値がある。

類似先行研究が限定的である中、既往基本文献を適切に調査し、その結果を組合せ、小規模企業のビジネス変革モデル(試案)を提案した。この特徴として、①全体のモデルは i)経営者の動機付け、ii)変革の起点形成、iii)価値創造と提供、iv)変革の継続、の 4 つのステップから構成、②伊丹のオーバーエクステンション(能力不足自覚→参入→自己鍛錬)が基本モデル、③持続的発展のためには iv)変革の継続も必要、④iii)と iv)の価値創造と継続の組織活動モデルは、経営戦略・管理、マーケティング、組織・人財の基本既往理論を組み合わせで構築、が挙げられる。これらの特徴は、申請者の豊富なコンサルタント業務経験に裏打ちされた、独自の視点であると言える。例えば、③持続的発展のためには iv)変革の継続も必要、との提案は、企業を「スナップショット」のように瞬間的に調査するだけでは決して生まれない。18 年間の小規模企業支援の経験の中で、苦境に陥った多くの企業と辛苦を共にした申請者であるからこそ、自身を持って主張できる「地に足が付いた」視点であると考えられる。

ただし論文としては、モデルが機能する理由が必ずしも明確に記述されていないので、改善することが望ましい。また、文献調査の中で、本研究の既往中小企業研究における位置づけを述べると、本研究の意義がさらに高まると考えられる。

2.審査の経過と結果

- (1) 令和 3 年 6 月 30 日 5 名の審査委員のもと協議され、博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定した。
- (2) 令和 3 年 8 月 19 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和 3 年 9 月 3 日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。